

スタスタLIVE英検

オンライン英検®専門指導 個別学習設計

SAMPLE

架空のモデルケースです

CASE 03 WORKING ADULT / EIKEN GRADE PRE-1

会社員（30代） 森田 悠介さん

英検準1級 合格プラン

現在地の診断と、合格までの学習設計

学生時代に2級を取得し、そこから約10年のブランクがあります。準1級は2級と**問題数がほとんど変わりません**。変わるのは語彙の抽象度と、リスニングの聞き方です。そして社会人の学習で本当の制約になるのは英語力ではなく、**限られた時間で何をやるかを毎回判断すること**です。その判断をこちらで引き受けます。

受験予定

2027年1月24日（日）

従来型 第3回 一次 / 注3

学習期間

176日間

2026年8月1日から

このモデルの学習配分

平日90分・休日180分を基本

実施状況に応じて調整

この資料は、お一人ずつ手作りしています

本書は見本としてお見せするための架空のモデルケースです。実際にお渡しする資料は、面談で伺った内容だけをもとに、診断も図の数値も日程も文章も、すべてその方のために書き起こします。テンプレートに名前を差し替えたものではありません。

スタスタLIVE英検 無料相談資料 見本

英検®は、公益財団法人 日本英語検定協会の登録商標です。本書に登場する人物・成績・日程はすべて架空のモデルケースであり、実在の受講生とは関係ありません。問題数・満点スコア・合格基準スコア・試験日は同協会の公表情報に基づきます。

00

EXECUTIVE SUMMARY

この計画の要点

診断、最優先の打ち手、見通し、そして前提が崩れる条件。

所見

この架空モデルでは、過去問で相対的に低かった語彙を最優先にします。現在地と使える時間を確認し、実施後の過去問・答案から配分を見直します。

最優先の打ち手

市販教材と、授業で扱った長文の重要語を併用します。

なぜここを最優先に置くか。このモデルでは、過去問で相対的に低かった語彙を優先します。実施後は、過去問の正答状況を確認して配分を見直します。CSEスコアは正答数から単純計算できません。

数字で見た見通し

このモデルの配分	学習期間	確認方法	一次試験の合格基準CSEスコア
平日90分	176日	過去問・答案	1792／2250
休日180分を基本	8月1日から1月24日	実施状況で見直し	正答率から単純計算不可

数字で見た見通し

このモデルでは、平日90分・休日180分を基本に学習時間を置きます。実際の可否や到達時期は、学習の実施状況と過去問・答案の結果によって変わります。

この計画を見直す条件

仕事や学業の予定で実施できる時間が変わった場合は、受験回と学習配分を見直します。公式日程、過去問・答案、実施状況を確認して判断します。

この資料の読み方。1章で現在地とつまずきの原因を切り分け、2章でいつ受けるかを逆算し、3章でその先の見通しを置きます。4章が日々の打ち手、5章が想定されるつまずきと計画の組み替え条件です。6章以降は進め方と体制のご説明になります。

01 DIAGNOSIS / 1

現在地を、数字で押さえる

問題数はほとんど変わりません。変わるのは中身です。

2級から準1級で、何がかわるか

	2級（取得済み）		準1級（今回の目標）
リーディング 読む	31問 語彙17・長文の語句補充6・内容一致8	➤	31問 語彙18・長文の語句補充6・内容一致7 問題数はほぼ同じ。語彙の抽象度が別物になります
リスニング 聞く	30問 会話15・パッセージ15（放送1回）	➤	29問 会話12・パッセージ12・Real-Life5 アナウンスなどを聞く新形式が加わります
ライティング 書く	2問 英文要約1問・意見論述1問	➤	2問 英文要約1問・意見論述1問 形式は同じ。求められる語彙と論理が上がります
一次のCSEスコア	満点1950（650×3技能）／合格基準 1520	➤	満点2250（750×3技能）／合格基準 1792
CSEスコアは正答数から単純計算できません			

図1：問題数・満点・合格基準はいずれも日本英語検定協会の公表情報より（注1・注2）。準1級は問題数がほとんど変わらないため、難しくなったという実感が語彙と聞き方に集中して現れます。逆に言えば、対策すべき場所がはっきりしている級です。

この差が、実際にどう効くか

CSEスコアは正答率ではなく、正答数から単純計算できません。実際の技能別CSEと大問別の正答状況から、優先する技能を決めます。

準1級ではリスニングにReal-Life形式が加わります。問題数や形式は英検協会の公表情報で確認します。

01 DIAGNOSIS / 2

つまずきの原因を切り分ける

準1級の長文が読めない原因を4つに分け、どれが当てはまるかを判定しました。

考えられる原因	判定	そう判断した根拠	この計画での扱い
① 語彙が足りない	該当	大問1の正答が4割台。知らない語が原因で選択肢を絞れていない状態です。	最優先。 1日40分を固定配分。通勤時間をそのまま充てます。
② 構文が取れない	非該当	2級を取得されており、SVOCを取る力が残っています。読めない原因は構文ではありません。	時間を使いません。 英文解釈の教材は入れません。む型から。速く読む練習ではなく、読み方を変えます。
③ 読み慣れ・処理速度	該当	約10年のブランクがあり、まとまった英文を読む習慣が途切れています。時間内に読み終わりません。	週2〜3回、段落の役割を意識して読
④ 背景知識が足りない	一部該当	抽象的な題材で止まる傾向があります。ただし社会人経験がある分、時事や社会の話題には強みがあります。	教材の題材選びで手当てします。苦手な分野を優先して読む順にします。

図2：面談で伺った手ごたえと、これまでの学習歴から判定しています。実際の資料では、実際に過去問を解いていただいた結果を見たうえでこの表を作成します。

この診断から導いた、時間配分の方針

この架空モデルでは、過去問の結果と使える時間から、語彙と読み慣れを優先します。非該当とした項目も、実施後の正答状況や答案に応じて見直します。

担当コーチの所見

この架空モデルでは、過去問の結果と使える時間から、語彙と読み慣れを優先します。教材の追加や学習配分は、相談で確認した予定と実施状況をもとに調整します。非該当とした項目も、過去問の正答状況や答案に応じて見直します。

02 BACKCASTING ゴールから逆算する

176日間の学習を、生活リズムにどう置くか

このモデルでは、平日は90分、休日は180分を基本に置きます。定期的に過去問・答案を確認し、学習量と受験回を見直します。



図3：一次試験日は日本英語検定協会が公表している2026年度第3回の日程です（注3）。二次はA日程が2月28日、B日程が3月7日で指定されます。S-CBTであれば一次と二次が1日で完結します。

1日のうち、英語に充てる時間の内訳（合計およそ120分）

語彙 40分	リスニング 30分	長文 30分	ライティング 20分
該当。通勤時間に置きます	該当。1日5問＋週1模試	該当。読み方の型づくり	休日にまとめて厚く
平日は語彙とリスニングを中心に短く、休日にライティングと長文をまとめて。1週間の合計で管理します			

図4：配分は診断の判定に対応させています。非該当と判定した構文には枠を置いていません。実際の資料では、通勤時間、繁忙期、出張の頻度を伺ってから決めます。

受験方式の選び方

S-CBT

1日で4技能を受験できます。原則として土日を実施されますが、級・地域・月により実施日や時間帯が異なります。準1級は実施日が限られるため、公式日程と会場を確認して選びます。

従来型

この30代の個人申込モデルでは、一次試験は2027年1月24日、二次試験はA日程の2月28日です。

03 ROADMAP 合格までの全体像

準1級の先まで見通しを立てておきます。

準1級は、英検協会の目安では大学中級程度です。仕事、留学、資格試験などでの利用条件は、目的や制度ごとに異なるため個別に確認します。

一次試験の合格基準CSEスコア

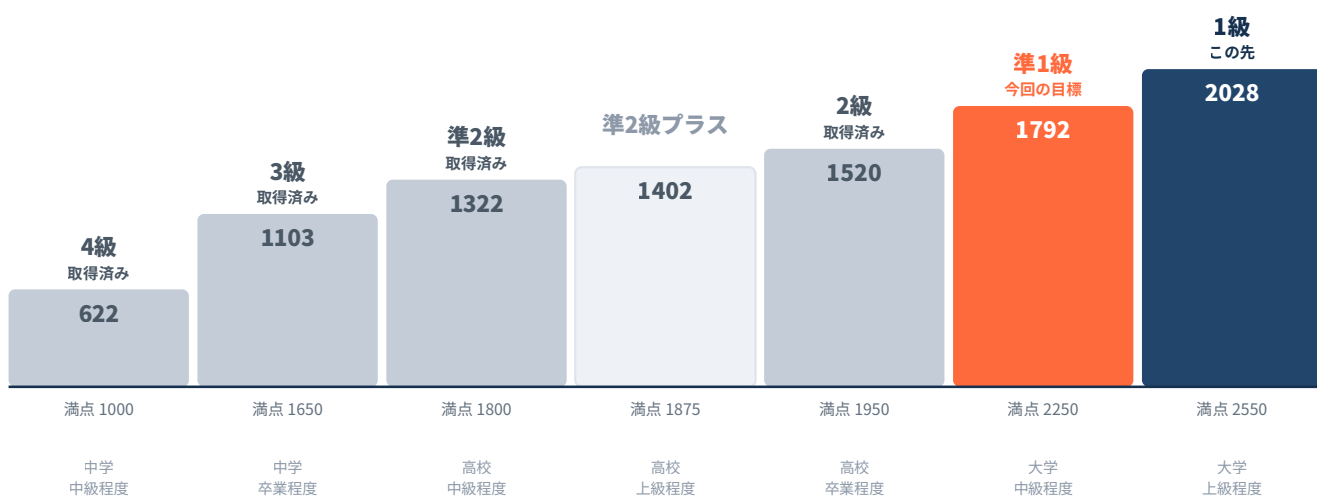


図5：棒の高さは一次試験の合格基準CSEスコアです（注2）。各級の満点CSEと、英検協会が示す級の目安も併記しています（注4）。

準1級の先にあるもの

- ・準1級（今回） 大学中級程度の目安です。
- ・1級 大学上級程度の目安です。試験形式は英検協会の公表情報で確認します。
- ・他の試験へ 仕事・留学・資格試験などでの利用条件は、目的や制度ごとに確認します。

準1級の後には、1級や他の英語試験を、目的と現在地に応じて選びます。

04 PROGRAM

毎日の学習メニュー

診断で該当と判定した3項目に、時間を寄せています。

語彙

計画で優先

このモデルでは、大問1の語彙を最優先にします

市販の「でた単」を定着確認に使い、授業で扱った長文の重要語を文脈と一緒に確認します。

実施後は、過去問の正答状況を確認して配分を見直します。

リスニング

定期的に

Real-Life形式と、1回だけの放送に慣れる

準1級のリスニングは会話12問、パッセージ12問、そしてReal-Life形式が5問。放送は1回だけです。聞き逃しても戻れない前提の聞き方を身につけます。大切なのは、スクリプトを読んで解ける状態を先に作ることです。つまずきが耳にあるのか、内容の整理にあるのかを切り分けます。

なぜ。該当項目です。新形式が加わるため、演習量ではなく聞き方そのものを変える必要があります。

長文

週2〜3回

段落ごとの役割を意識して読む

準1級の長文は語数が増え、題材も抽象的になります。一文ずつ訳す読み方では時間が足りません。序論、本論、結論のどこを読んでいるかを意識する読み方に切り替えます。知らない単語があっても全体の筋が追えるようになると、読む速さが変わります。

なぜ。「読み慣れ・処理速度」が該当のためです。速読の訓練ではなく、読む順序を変えることで時間を作ります。

ライティング

答案を提出

英文要約・意見論述の答案を確認します

2級と同じ英文要約・意見論述の2形式ですが、求められる語彙と論理の水準が上がります。提出答案を講師が確認し、修正理由を授業で扱います。

学習配分は、答案と実施状況に応じて見直します。

文法

枠を置かず

ブランク分だけ、ピンポイントで

この架空モデルでは、過去問と長文で間違えた文法だけを確認します。実施後の正答状況に応じて、追加する範囲を見直します。

この架空モデルでは、過去問と現在地から、先に扱わない教材を決めています。実施後の正答状況や答案に応じて、扱う内容は見直します。

04 MATERIAL

語彙は、この単語帳で覚えます

その回の問題に出た語を、こちらで抽出してお渡しします。

読む長文が変わるたびに、その回の問題に出た重要語を抽出し、イラスト付きの単語帳を作ってお渡しします。意味を文脈とイメージで確認できる形にします。

2025年度 第2回 英検 準1級
リーディング Part1・Part3
覚える単語一覧

トトマルと一緒に覚えよう！
毎日の一歩が
大きな力になるよ！

この単語帳の使い方

- すべての単語に、意味を表すイラストがついているよ！
- 声に出して読んだり、例文を音読して覚えよう！
- 最後にテストもあるから、しっかり復習できるよ！

★ Part1 語彙問題 18語 (1~6)

1 remote
リモート
人里離れた、遠隔の
The village is in a remote area.
その村は人里離れた地域にある。

2 audible
聞き取れる
His voice was audible.
彼の声は聞き取れた。

3 commuter
通勤者
She is a daily commuter.
彼女は毎日の通勤者だ。

4 commission
歩合、手数料
She earns a commission.
彼女は歩合を得ている。

5 fatigue
疲労
He felt extreme fatigue.
彼はひどい疲労を感じた。

6 abruptly
突然、急に
The meeting ended abruptly.
その会議は突然終わった。

1/15 2/15

★ Part1 語彙問題 18語 (7~12)

7 tolerate
許容する、我慢する
I can't tolerate rudeness.
私は無礼な振舞いを許容できない。

8 massive
巨大な、大規模な
The hotel can accommodate 200 guests.
そのホテルは200人客を収容できる。

9 accommodate
収容する、対応する
I'm indebted to you for your help.
あなたの助けのおかげで、私はお礼を言っています。

10 forthcoming
直前に情報を出す
The news was forthcoming with details.
その情報は詳細に話してくれました。

11 indebted
借りておく、借りている
The police officer escorted him to safety.
警官が彼を保護し、安全まで護送した。

12 escort
付き添う、護送する
They decided to tear down the old building.
彼らは古い建物を取り壊すことにした。

13 batch
一団、ひとまとまり
The plan was shot down.
その計画は却下された。

14 evoke
感情などを呼び起こす
They decided to tear down the old building.
彼らは古い建物を取り壊すことにした。

15 figure on
覚悟にする、予測する
Please get down on the next step.
次のステップに降りてください。

3/15 4/15

★ Part3 長文1 「Rocket Science」 前半30語 (1~6)

1 household name
有名な人・名
She became a household name.
彼女は国民的有名人物になった。

2 media coverage
マスコミによる報道
The event received a lot of media coverage.
そのイベントはマスコミでよく報道された。

3 achievement
業績、功績
Her achievement was widely praised.
彼女の業績は広く賞賛された。

4 behind the scenes
裏方で、裏に隠れたところ
They worked behind the scenes.
彼らは裏方で働いていた。

5 play a crucial role in
重要な役割を果たす
The team played a crucial role in the project.
チームはプロジェクトで重要な役割を果たした。

6 unsung hero
無名英雄
Many unsung heroes support our society.
多くの無名英雄が私たちの社会を支えている。

5/15

★ Part3 長文1 「Rocket Science」 後半30語 (7~12)

7 conduct calculations
計算を行う
They conducted complex calculations.
彼らは複雑な計算を行った。

8 complex calculation
複雑な計算
This problem requires a complex calculation.
この問題は複雑な計算が必要だ。

9 spacecraft
宇宙船
The spacecraft was launched successfully.
その宇宙船は成功して打ち上げられた。

10 navigation
航行、ナビゲーション
The spacecraft's navigation system was flawless.
宇宙船のナビゲーションシステムは完璧だった。

11 aerodynamics
空気力学
Aerodynamics affects an airplane's performance.
空気力学は飛行機の性能に影響を与える。

12 orbital physics
軌道物理学
Orbital physics helps scientists understand the universe.
軌道物理学は科学者が宇宙を理解するのに役立つ。

6/15

なぜ、わざわざ作るのか

- その回の長文に出た重要語を抽出し、文脈と一緒に確認します。
- イラストと例文を添え、語の意味を複数の手がかりで確認できる形にします。
- 授業で扱った長文を振り返りながら意味を確認します。
- 巻末テストで意味と例文を自分で確認します。

市販の「でた単」も、定着確認と並行して使います。その回の長文に出た重要語は、文脈と一緒に確認します。

見本：2025年度第2回 準1級のリーディングから作成した単語帳（全15ページ）。Part1の語彙18語と、長文「Rocket Science」に出た語を抽出しています。すべての語にイラスト、読み方、例文と和訳がつき、巻末にテストがあります。級と回が変われば、その回のぶんを作り直します。

05 RISK & DECISION

想定されるつまずきと、計画の組み替え

社会人の学習で実際に起きることを、先に洗い出しておきます。

先回りして手当てしておくこと

想定されるつまずき	起きやすい時期	兆候	あらかじめ決めておく手当て
繁忙期や出張で1～2週間空く	9月・12月	週の学習時間が半分以下になる。アプリの記録が途切れる。	空く週をあらかじめ計画から外します。優先順位を決めてあるので、時間が半分でも語彙とリスニングだけは残します。
再開のきっかけを失う	空いた直後	1週間空いたあと、そのまま戻れなくなる。	学習が止まった場合は、相談の上で再開日を決めます。
伸びている実感が持てない	10月～11月	学習は続いているが、模試のスコアが動かない時期。	学習は続いているが、過去問の結果が変わらない時は、答案と大問別の正答状況を確認し、配分を見直します。
教材を買い足したくなる	11月～12月	不安から新しい参考書や問題集に手を出す。	本番前に教材を増やすと、どれも中途半端になります。追加が要るかどうかはこちらで判断してお伝えします。

図6：社会人の準1級受験で実際に起きやすい順に並べています。実際の資料では、繁忙期の時期や出張の頻度を伺ったうえで、その方に起きやすいものを選んで書きます。

計画を組み替える条件を、先に決めておきます

週の学習時間が3週続けて8時間を下回った	仕事の予定と公式試験日程を確認し、受験回を見直します。
過去問で語彙の正答状況が改善した	語彙の配分を減らすか、答案と次回の過去問を見て判断します。
リスニングだけ改善しない	スクリプトを読んだ場合の理解と、実際の聞き取り結果を比較して原因を切り分けます。

受験回を見直す条件は、仕事の予定、学習の実施状況、過去問・答案、公式日程を確認して決めます。

06 TRACKING 学習を見える化して続ける

何をやるかの判断を、こちらで引き受けます。

学習記録をスタスタApps等で共有し、授業やコーチング時に進み具合を確認します。記録方法と連絡手段は受講開始時に案内します。

学習のサイクル



図：授業で入れた型を宿題で使い、アプリと模試で結果を確認して、また授業に戻す。この循環があるので、やっただけで終わりません。

不足している部分を、どう見つけて埋めるか

記録と過去問の結果から、技能配分や受験回を見直す時期を判断します。

質問方法と返信の目安は、受講開始時に案内します。

記録と過去問の結果を確認し、必要な場合に学習計画を見直します。

07 DELIVERY 授業と、担当のこと

オンラインが初めてでも、進め方は明快です。

担当は固定です

毎回先生が変わることはありません。学習の進み具合を把握した担当が一人つき、4技能をまとめて見ます。技能ごとに先生が分かれることはないため、全体を踏まえた指示が出せます。1回の授業は55分です。

日程は担当講師と調整します

日程は担当講師と調整します。変更・振替条件は申込み前に案内します。

授業でやること

授業は**実際の英検の問題を使う時間**です。リスニングを一緒に解いて根拠を確認し、書いてきた英作文を添削したうえで、なぜその表現を選ぶのかまで扱います。動画を見続ける形ではなく、**完全1対1の双方向**で進めます。独学で止まっていた箇所を、その場で聞いて解消できるのがマンツーマンの利点です。

コーチング（授業とは別の時間です）

必要に応じてコーチング

進み具合を確認し、必要な場合に学習計画を見直します。

オンラインが初めてでも大丈夫です。画面を共有しながら、同じ問題と一緒に見て進めます。通学の移動時間がない分、平日の夜でも続けやすくなります。万が一、担当講師との相性が気になる場合は、交代もご相談いただけます。

08 PLAN コースの選び方

回数が増えるほど手厚くなります。金額は別紙料金表をご覧ください。

このモデルでは、ライティングとスピーキングにも時間を配分するため、月6回または月8回を候補にします。実際の回数は、現在地、受験までの期間、使える時間を確認して決めます。

コース	回数	対策できる範囲
ライトコース	月4回	一次対策のみ。自習を中心に、要点だけ見てほしい場合。
スタンダードコース 推奨	月6回	一次に加えてスピーキングも並行。
スタンダードコースプラス 推奨	月8回	ライティングや弱点にさらに時間をかけたい場合。
プレミアムコース	月12回	最も手厚いコースです。

オレンジの行が、このモデルケースでの推奨です。回数は週あたりではなく月あたりで設定します。金額は本書には記載していません。別紙料金表をご確認ください。

お手続きの要点

- ・ 回数は週あたりではなく、月あたりで設定します。
- ・ 料金・支払い・変更・振替条件は、申込み前に料金表と案内で確認します。

教材について。使用する教材とアプリは、現在地とお持ちの教材を確認したうえで案内します。教材費や利用条件は、申込み前に料金表と案内で確認します。

09 ABOUT この資料について

見本は架空です。実物は、お一人ずつ手作ります。

この架空モデルでは、2級取得歴と過去問の結果を前提に、優先順位と学習量を設計しています。実際の計画は、無料相談で伺った内容をもとに作成します。

面談のあと、ここが差し替わります

- **診断（1章）**。つまずきの原因の切り分けは、伺った手ごたえと過去の学習経験から判断します。この資料の中心です。
- **現在地の図**。成績表をお持ちであれば、技能別CSEと大問別の正答数という実数で作り直します。
- **日程**。実際に空いている会場と日程、受験方式、申込の開始日時まで調べたうえで置きます。
- **教材と1日の配分**。お持ちの教材を仕分け、生活リズムに合わせて量を決めます。
- **リスクと分岐（5章）**。その方に起きやすいつまずきと、計画を組み替える条件を書きます。

無料相談の流れ

- 1 オンラインで無料相談を行います。
- 2 現在地・目標・生活リズムを伺います。
- 3 伺った内容をもとに計画を作成します。

最後に

オンラインで無料相談を行い、伺った内容をもとに計画を作成します。

無料相談のお申し込みは、こちらからどうぞ。

apps.studystudio.jp/live-eiken/consultation

出典

注1 公益財団法人 日本英語検定協会「各級の試験内容」（大問ごとの形式と問題数）

注2 同「英検CSEスコアとは」および同協会FAQ（技能別の満点スコア、一次試験の合格基準スコア）

注3 同「2026年度 試験日程（個人でお申し込みの方）」（従来型の一次試験日・二次試験日）

注4 同「各級の目安」（推奨する学習の目安）